① 真室川町交通安全町民大会

交通死亡事故が町内で２年連続して発生し、飲酒運転検挙率が県内ワースト２位となったことから、11月４日(月)、遊楽館で開催されました。アトラクションでは県警音楽隊が大会に華を添え、講演会ではやまがた犯罪被害者支援センターの宍戸義明氏から、交通事故被害の実態を講演していただきました。また、幼児、児童・生徒は、交通安全の誓いやメッセージを読み上げ、交通事故防止を訴えました。最後に大会宣言が承認され、改めて交通事故防止と飲酒運転撲滅を確認しました。

② 山形市でおいしい魅力をＰＲ

10月29日・30日の２日間、山形銀行本店で、第2回真室川町展が開催されました。これは、生産量日本トップクラスを誇る原木なめこや真室川ブランド特産品を、山形市の方にPRすることを目的に、昨年から行われているものです。先着150名様への原木なめこのプレゼントや販売が行われ、真室川のおいしい魅力を大いにPRしました。また、町のイメージキャラクター「うめ子ちゃん」も登場し、道行く人の注目を集めました。

③ 祖父母参観で伝承野菜を収穫

10月29日(火)、真室川あさひ小学校（髙橋正彦校長、児童63名）で祖父母参観があり、６月に佐藤春樹さんの指導のもと植えられた甚五右ェ門芋の収穫が行われました。児童たちが力を振り絞って掘り起した芋は、昨年よりも大きく、およそ60kgありました。収穫された芋は、総合学習の中で、学年ごとにメニューを考え、調理し、食します。「今年は、パンケーキを作ってみたい。」と、井上静紅(しずこ)さんは元気に答えてくれました。

④ 婦人芸能祭大盛況

11月10日(日)、中央公民館にて第33回婦人芸能祭が開催され、500名を超える来場者がありました。当日はあいにくの雨でしたが、町のイメージキャラクター「うめ子ちゃん」とのダンスコラボなど、婦人会による工夫を凝らしたショーに、会場は大変な盛り上がりをみせました。

⑤ ホットなふれあい交流会

10月20日(日)、イベントハウス遊楽館で、町内企業の海外研修生との交流を深める「ホットなふれあい交流会」（主催：真室川町海外研修友の会・たんぽぽ会）が開催されました。20回目の節目を迎える今年は「食」と「音楽」をテーマに、お互いの文化について理解を深めました。

⑥ 大収穫祭

10月27日(日)、役場駐車場で、「第15回真室川町大収穫祭」（主催：第15回大収穫祭実行委員会、真室川町認定農業者連絡協議会）が開催されました。会場では、つきたての餅の振舞いや、町内産山形牛串焼きの販売などが行われ、来場者は秋の味覚を楽しみました。６次産業化チャレンジブースにおいては、町内外６次産業化関連商品の展示・試食のほか、おかしの平和堂の阿部シェフによる伝承野菜スイーツ作り体験が行われました。

第２部として、中央公民館で新沼謙治コンサートも開催されました。

⑦ 川ノ内地区で防災訓練

11月7日(木)、川ノ内地区自主防災組織による防災訓練が開催されました。これは、県で主催する自主防災組織の強化支援を目的に実施されたもので、防災アドバイザーの助言をもと、地区住民の避難誘導訓練や避難所運営訓練が行われました。訓練では、大地震発生を想定して防災放送で避難を呼びかける情報伝達を皮切りに、地区住民の避難が開始され、独自の名簿をもとに安否確認が行われました。また、地区公民館が避難所となることに備え、竹と毛布を使った簡易担架の作り方や非常食米の炊き方を体験しました。

各種大会結果

県中学校新人大会・北ブロック大会

●ソフトテニス(女子団体)
真室川中　第３位

●柔道（女子団体）
真室川中　第３位

●柔道（男子個人）
6655kg級　佐藤　麗王　第２位
816kg級　藤田　陽大　第３位
655kg級　石黒　凪　第２位

●柔道（女子個人）
704kg級　髙橋美衣菜　第１位
840kg級　佐藤　初奈　第２位
kg超級　二坂明日香　第２位

●陸上（男子共通２００ｍ）
齊藤　富廣　第３位

県中学校新人大会・決勝大会

●柔道（女子団体）
真室川中　第３位

●柔道（男子個人）
6655kg級　佐藤　麗王　第３位
kg級　藤田　陽大　第３位

●柔道（女子個人）
704kg級　髙橋美衣菜　第２位
840kg級　佐藤　初奈　第２位
kg超級　二坂明日香　第２位

第11回東北少年軟式野球新人大会山形県予選

真室川中　第３位

町長コラム

3期目に向けて

２期８年の実績を踏まえ３期目がスタートすることになり、公約実現に向け施策を展開していくことになる。雇用の確保・拡大に向けた課題は先々まで続いていくものであり、その時代、環境に応じた対応が問われると考えられる。40年前は自動車・電機・縫製関連が活況であったが、グローバル化に伴う海外展開により製造業の空洞化が進み雇用が激減している。それに代わって福祉・環境・農業関連で雇用が増えているのが現状である。当町において、福祉関連で老健・介護施設が１施設から５施設に、農業関連で水田に変わり園芸・畜産で雇用増が図られている。自然エネルギーの普及で、太陽光パネル、風力施設、水力施設、地熱施設などの開発・事業展開により雇用拡大につながっている。当町としても、福祉の充実、６次産業を積極的に推進し、雇用の拡大を図っていく。

真室川町長　井上　薫